



竹島 勝昭
(市民連合クラブ)

森林の整備で地球温暖化防止を

森林経営計画により

適切に整備中

議員 地球温暖化防止の主要な施策となる、森林吸収源対策を考慮した林業に関する今後の施策は、

農林部長 樹木は成長過程で二酸化炭素を吸収するが、針葉樹は樹齢二十年程度で吸収力が低下していくことから、適切な森林整備が重要であると認識しています。このため、市では平成二十四年度に作成した森林経営計画に基づき整備を実施しているほか、民有林においても効果的かつ適切な整備を図るため、森林組合に対し、計画の作成に関する作業・業務を国の交付金制度を活用しながら助成しています。

息場所が減り、樹木のまばらなエリアがふえ、屋なお薄暗く鬱蒼とした、原生的な森林景観が失われつつある。思い切った遊歩道廃止や、国道の変則片側通行で植生回復を図ってはどうか。

市長 樹齢が進み危険木となったものは伐採が必要となりますが、奥入瀬溪流は特別保護区域なので、勝手に切ることはできません。また、国立公園内ですが、道路は一般道として通行量も確保しなければならぬという問題もあります。自然を保護する方策としてどういうことが望ましいのか、管理側と話をしてみたいと思っています。

望が高まっている。屋外スポーツの冬期間の練習場の必要性についての認識は。

教育部長 閉鎖した両施設とも特に積雪期間は多くの方が利用していたことから、公共施設の整備方針では、両施設を統合し建てかえることとしています。具体的な規模や場所及び時期等については、平成二十八年度に策定される公共施設等総合管理計画で定めることとされています。

議員 奥入瀬溪流では危険木として十年間で八百五十本も伐採されている。また、国道と遊歩道の建設により、樹木の生

議員 市中心部にあった市民屋内グラウンドと南屋内グラウンドが閉鎖されたが、早期整備の要



早期整備の要望高まる

子供の貧困対策の実施を

こども子育て支援課を 新設し支援体制を強化する



氣田 量子
(自民公明クラブ)

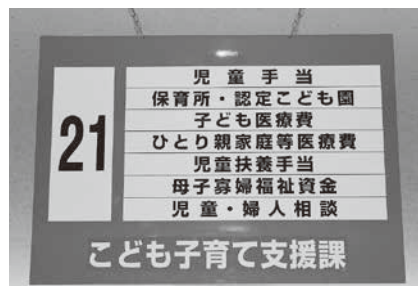
議員 子供の貧困対策についての認識は。

市長 国や県の動向を見据え検討するほか、平成二十八年四月にこども子育て支援課を新設し、子供に関する支援体制の充実強化を図ります。

議員 ひとり親家庭の

就業支援の現状は。

健康福祉部長 雇用保険に加入していないひとり親の経済的自立を支援するため、技能や資格を取得するための教育訓練経費を補助しており、平成二十七年年度の利用実績は一件です。



子育て支援充実へ

議員 子供の学習支援や居場所づくりの取り組みは。

健康福祉部長 学習支援については、平成二十七年年度は県主体でひとり親家庭の子供を対象に学習講習会が開催されましたが、平成二十八年度からは、市主体で教員OBや大学生などによる学習講習会を開催することとしています。居場所づくり

については、平成二十八年年度から仲よし会の新規開設や開館時間の延長などで充実を図ることとしています。

議員 教職員の負担軽減のため、連絡掲示板や職員間の連絡、時間割作成や行事予定表作成、保健日誌や保健情報管理、通信連絡票や指導要録作成等の機能がある「校務支援システム」を導入してはどうか。

教育長 現在全小中学校二十六校のうち二十一校で、市販の校務システムを学校ごとに導入しており、業務効率化のために活用しています。システム導入の利便性は認識しておりますが、全小中学校の校務情報の完全電子化については、システムの投資効果、学校情報のセキュリティの確保、電子化に合わせた校務の見直しや公文書の取り扱いなど課題があることから、他市の導入事例等を調査・研究したいと考えています。